



ゲンゲ（レンゲソウ）

1、2021年度(令和3年)葦毛湿原の動物調査

昨年に引き続き、2022年3月末までの一年間、二の沢で自動撮影カメラによる動物の定点撮影を行いました。2021年度の撮影回数は延べ62回でした。2020年度の撮影回数は延べ45回でしたので、撮影回数は約40%増えました。

二の沢での撮影は2016年から開始し、6年間撮影を行っています(右表)。2016年は二の沢の木を伐採した直後で裸地に近い状態で147回撮影されましたが、切り株から萌芽が伸び、草が増えて見通しが利かなくなると動物の撮影回数は減っていき、2018年には

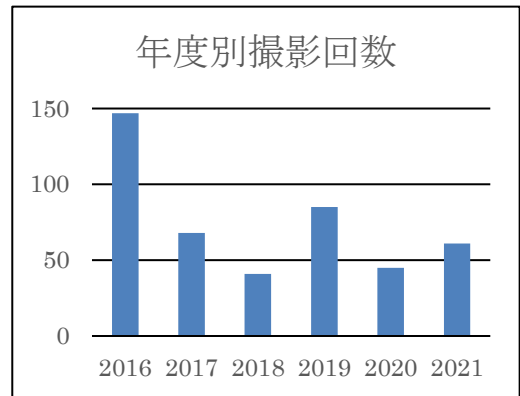


表1 種別撮影回数一覧表

41回になりました。この年の冬に抜根作業を行って再度裸地化したところ、85回まで増えましたが、2020年には45回に半減しました。今年は62回と増え、ある程度安定したのかもしれませんが。

番号	種名	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	ニホンイノシシ	13				5			3			1	2	2
2	ニホンノウサギ	21			11	1	2	2	1		2	1	1	
3	ホンドタヌキ	5						1	2			1		1
4	ホンドキツネ	1					1							
5	ハクビシン	2		1		1								
6	ニホンイタチ	3			1									2
7	ホンドテン	5								1		1	3	
8	ニホンリス	0												
9	ニホンアナグマ	0												
10	ヤマシギ	0												
11	コジュケイ	0												
12	ノネコ	2						1	1					
13	ニホンカモシカ	8					2	6						
14	ハシボソガラス	1				1								
15	ハシブトガラス	0												
16	不明	1								1				
	合計	62	0	1	12	8	5	10	7	2	2	4	6	5

1) 調査方法

2021年度は、二の沢のT地点で引き

続き撮影を継続しました。撮影は、昼間はカラー、夜間はモノクロになっています。これは、夜間撮影時にカラー撮影するためにはフラッシュが必要になるので、動物を驚かさないうようにして継続して調査をするためです。

動物の撮影は葦毛湿原の植生への影響、アライグマ等の外来種の確認のために継続して行っています。

2) 調査結果

2021年度は延べ62回撮影されました。内訳は表1、図1・2の通りです。前年度の2020年度(葦毛通信 No. 109)と比較して撮影回数は約40%増えましたが、全体の傾向としては昨年とかなり近い状態になりました。

2020年度の月別撮影回数は、6月、9月、2月にピークがありますが、11月から3月の冬季に撮影回数が少なくなっており、これまでと同じような傾向にあります。

撮影された動物の種類で最も多いのは、ニホンノウサギで21回(34%)撮影されました。昨年は14回(31%)だったので、ほぼ同じ割合です。ニホンイノシシは13回(21%)で昨年の8回(18%)とほぼ同じで、この2種類で全体の約50%になりました。

これ以外は、ニホンカモシカ8回(13%)、ホンドタヌキ・ホンドテン5回(8%)、ニホンイタチ3回(5%)、ハクビシン・ノネコ2回(3%)、ホンドキツネ・カラス・不明1回(2%)となっています。カラスはハシボソガラスに入っていますが、羽だけしか確認できず、種は不明です。

撮影回数は昨年よりも約40%増えましたが、動物の割合は昨年とほぼ同じような状況です。

以下の写真は2021年度に撮影された主な動物です。ニホンノウサギは6月に集中し、その他の月は回数は少ないですがほぼ一年を通して撮影されました。イノシシは親子連れが3回写っており、確認できるのは親子連れの場合が多いようです。ニホンカモシカは8回撮影され、8・9月に集中していましたが、昨年もこの時期に集中しており同じ傾向でした。

2021年度はノネコ(イエネコ)が2回撮影されました。9・10月の近接した時期に同じような位置で映っていました。葦毛湿原は住宅地から近く、これまでもノネコが撮影されたことがありましたが、葦毛湿原に対する直接的な影響はまだ確認されていません。

また、駐車場近くにある長尾池にはヌートリア、ウシガエル、ミシシippアカミミガメ、ブラックバス等の外来種が生息しています。ウシガエルは葦毛湿原の指定地まで上がってきており、定着しないように籠ワナで駆除をしています。

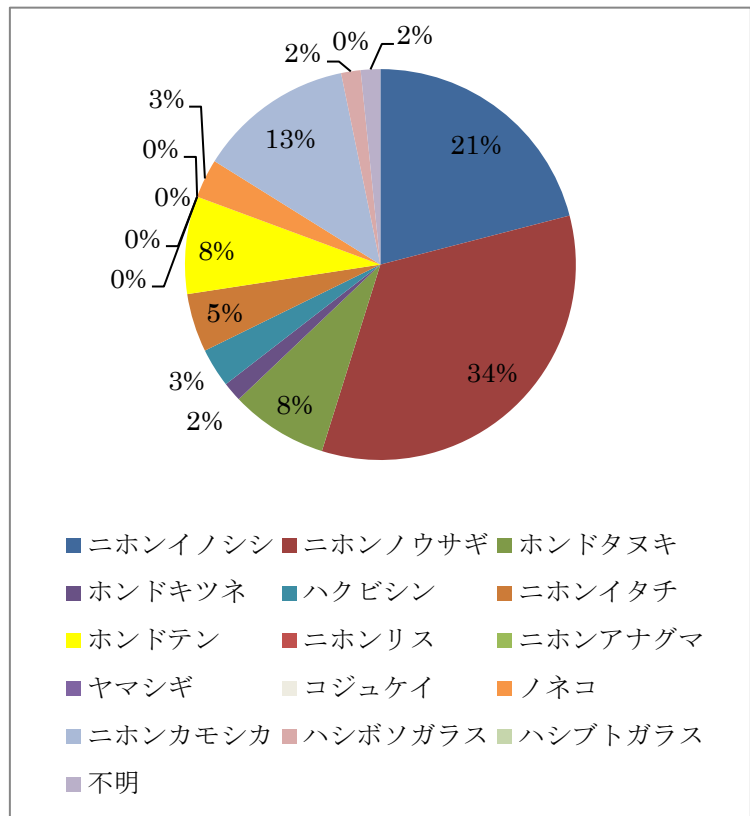


図1 種別撮影回数割合

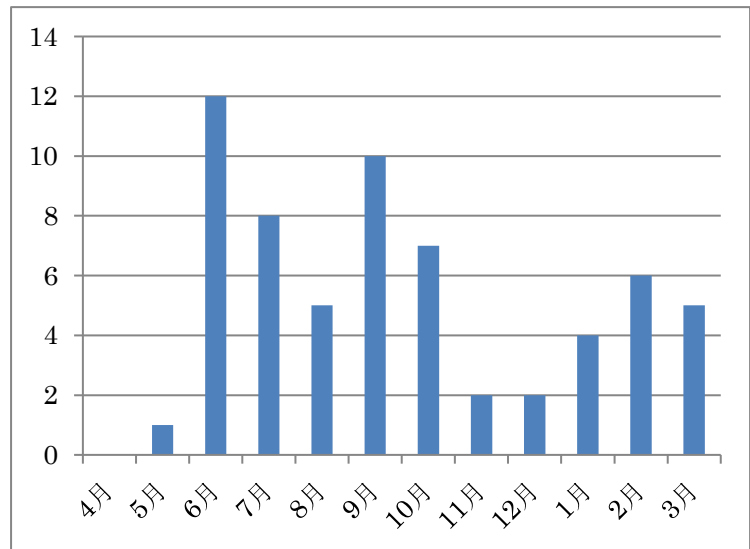


図2 月別撮影回数



ニホンノウサギ (2021年6月22日)

ニホンイノシシ幼体 (2021年7月17日)



ニホンイノシシ (2021年7月24日)

ニホンカモシカ (2021年9月6日)



ノネコ (2021年10月3日)

ノネコ (2021年9月19日)



ホンドタヌキ (2021年10月3日)



ホンドキツネ (2021年8月4日)



ホンドテン (2022年2月27日)



ハクビシン (2021年7月24日)

2、ナガバノイシモチソウが発芽しました！

ナガバノイシモチソウの発芽を4月12日に初確認しました。発芽直後で、まだ双葉も開いていないものもありました。

双葉と捕虫葉が開いて十字形になっているものも見



発芽直後のナガバノイシモチソウ (目盛りは1mm)

られますが、長さは2mm程度です。あまりに小さいので双眼鏡を使って観察しています。